



# やまちゃん通信 ～第3号～ 2012年11月

■■■この「やまちゃん通信」は、私と何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■■

## ◆みかん売りのやまちゃん◆

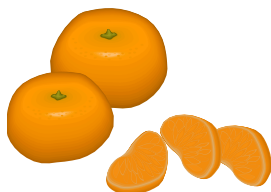
こんにちは！いつも大変お世話になっております。山翠園代表の山本昌利です。やまちゃん通信第3号をお送りいたします。よろしく願いいたします。

さて、今回は私の“お客様商売”の“原点”についてです。第1号では、いまの仕事を“きっかけ”を書かせて頂きましたが、今回は“原点”についてです。

私の家は農家で、「アルバイトをするなら家の仕事の手伝いを」というのが、中学高校時代の暗黙の了解でした。ただ、大学に入ってから自由で1回生の秋からアルバイトを開始。生まれて初めてのアルバイトはホテルプラザの裏方の皿洗い。食費には困らなかったのですが、特別楽しいと思えるものではありませんでした。

当時、私はひとり暮らしで自炊をしていました。そして食材を買いに毎日行く近所のスーパーの目の前に、露店の八百屋さんがあり、よく買い物をしていました。その店は、36、7のお兄ちゃんと、60代くらいのおっちゃんが2人でやっていたのですが、ある日そこで買い物をしていると、「にいちゃんうちにアルバイトこいや」と声を掛けられました。私は、2人の感じが良かったので二つ返事で「いいよー」と返事し、皿洗いを辞めそこでアルバイトをすることになりました。生まれて初めての“お客様商売”いざやってみると、とにかく楽しかったことを覚えています。

そして、特に覚えているのが年末のみかん売り。安かったこともあり、仕入れられていたのは、なんと15キロの箱が131箱も！そして「にいちゃん売れえ」と言われ、朝から晩までひたすらみかんを売ることになりました。結果、1日で131箱中130箱売ることができました。1箱だけ売れずとっても悔しかったのですが、それ以上に、お客様から「売ってくれてありがとう。」と。また、お正月明けには「にいちゃんうまかったわあーあのみかん。ありがとう。」と言って頂けたことに喜びを感じました。



ちなみに残った1箱は、私がみかん好きだったこともあり「持って帰って食べえ」と言われひとりで食べました。いまでもみかんを見るたび、あのときのことを思い出します。これが私の“原点”です。

## ◆やまちゃんおすすめのコーナー◆【本】

「『あなたのところから買いたい』とお客に言われる小さな会社」

佐藤元相著 フォレスト出版

今回は、まさに「食欲の秋」でお店をご紹介させて頂く予定だったのですが、ダイエット中ということもありまして、お店は一回お休みです(笑)。そこで、「読書の秋」に変更いたしまして、おすすめの本をご紹介させていただきます。この本の著者である佐藤元相(もとし)先生には、私が以前、経営に頭を悩ませていたときに偶然出会いました。佐藤先生が講演をされていたときだったのですが、この先生だったら、私の残りの人生預けてもいいかなと、(若干の不安もありましたが)そう思えました。



以来、いろいろ学ばせて頂いていて、私もこの本のタイトルのような会社を目指して頑張っているところです。そして、先日は、この本の出版記念パーティー(大阪)にも参加させて頂きまして、頑張っている多くの社長さんたちにも出会い、ますます頑張っていこうと思えました。この本は、特にご商売をされている方にお勧めの一冊です。

## ◆発行者コラム◆

最後までお読み頂きまして、誠に有難うございました。やまちゃん通信第3号は、いかがでしたでしょうか?さて、前回、第2号でご紹介させて頂きました“絵馬”について、とっても高いと思われていた方が多かったのですが、実は、数千元ととっても安価なのです。先代からの言い伝えで価格が抑えられているそうです。山本昌利

■やまちゃん通信ご不要の方は、お手数ですがお名前を書いてそのままFAXして頂くか、お電話にてお申し付けください。■

### 【発行者プロフィール】

“ゆとり”と“やすらぎ”のガーデンづくりでNo. 1を目指す社長

山本 昌利(やまもと まさとし)

◆生年月日:昭和33年3月24日生まれ ◆出身地:京丹後市大宮町

◆趣味:国内で食べ物がおいしいところへの旅行(主に熊本、長野)

◆家族構成:両親、妻、娘3人 ◆好きな食べ物:地鶏、魚、たまご焼き

### 【発行元】

“ゆとり”と“やすらぎ”のガーデンづくりでNo. 1を目指します!(株)山翠園

〒629-2502 京都府京丹後市大宮町河辺3715-1

TEL:0772-68-0707(8:00~17:00) FAX:0772-68-0821



山本 昌利